

127 ハナグモリ

(ハナグモリ科)

兵庫県ランク:A

Glaucanome angulata

環境省ランク:VU

種の概要

房総半島から瀬戸内海を経て有明海・八代海、沖縄島、西表島に分布する。内湾奥部の汽水域に形成される泥底、砂泥底、砂泥礫底に生息する。殻長25mm程度。殻は細長い楕円形で薄質、膨らみはやや強い。殻頂は中央よりやや前方に寄る。殻頂から腹縁中央部へわずかにくぼむ。殻皮は黄緑色。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○	○		○	○			○

県内分布

高砂市、洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。これまで播磨東部で生貝と死貝が少数確認されている。淡路島では東部のシオヤガイ(貝類Aランク)などが生息する内湾に面した干潟の泥砂底で死貝1個体を確認したのみである。そう離れた場所からの流動個体とは考えにくい。

保護上の留意点

生息地の河口干潟などの岸近くは、護岸工事の影響を受けやすく、生息地が消失しやすいので、工事にあたっては泥干潟を十分に残すよう配慮する。



写真提供：増田修



【執筆者】 川淵千尋